

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (27) 地域密着型金融の取組み
JAうま（愛媛県）

新規	継続
	○
	(平成 26 年 4 月)

1 動機 (経緯)	営農部門担当者（農機センター担当者含む）の農業融資に対する意識付けと、信用部門担当者の農業経営（資金需要の発生時期等）に係る知識の向上を図る目的で、部門間の協力体制の強化を平成 26 年 4 月より推進しています。
2 概要	営農部門担当者（TAC）の定例会に信用部門担当者が参加し、情報や意見の共有を図りました。 農業者への営農部門担当者（TAC）と信用部門担当者による定期的な訪問を実施しました。 また、信用部門担当者の農機具展示会などへの参加により、農業者から寄せられる情報の共有化を図り、部門間の連携を強化しました。
3 成果 (効果)	情報の共有化により、農業者の資金需要に対する迅速な対応が可能となり、農業者が求める適正な農業経営支援が可能となりました。
4 今後の予定 (課題)	今後も営農部門担当者（TAC）の定例会への信用部門担当者の参加などを継続し、更なる連携強化を図ります。また、農業者らの資金需要の把握に努め農業経営支援を行い、顧客満足度向上に努めます。